

2008

11

No. 38

Miyakojima City
Public Relations

広報

みやこじま



～ 室蘭よさこいソーラン AJG KIDS 「歓迎・交流演舞会」 ～

9月22日、マティダ市民劇場で室蘭よさこいソーランチーム AJG KIDS 「歓迎・交流演舞会」が行われました。

AJG KIDS は室蘭市の小～高校生で構成され、北海道の「札幌・YOSAKOI」大会などで受賞歴もあるレベルの高いチーム。今回は宮古島市と室蘭市の更なる交流を目的に来島しました。

演舞会は、地元の子どもの元気いっぱいの踊りと、AJG KIDS の華麗な演舞により、終始大盛況でした。



今月の主な内容

インフルエンザ予防接種実施について ……P2

宮古島のわだい ……P6

お知らせ（児童虐待防止推進月間 ほか） ……P8

■ホームページ <http://www.city.miyakojima.lg.jp/>





インフルエンザの 予防接種を実施します



○月×日△曜日

宮古島市では、保護者が希望する小中学生を対象に、無料（公費負担）でインフルエンザ予防接種を実施します。
この予防接種は、任意の予防接種です。効果や副反応などをよく理解した上で接種して下さい。

日程表（小学生）

日時と場所	対象小学校名	回数
11月1日(土) 14:00～15:30 総合体育館	平一、南、鏡原、宮原	1回目
11月3日(月) 10:00～11:30 総合体育館	北、東、久松、西辺、狩俣、宮島、池間	
11月3日(月) 14:00～15:30 総合体育館	西城、城辺、福嶺、砂川、下地、来間、上野	
11月9日(日) 10:00～11:30 伊良部公民館	佐良浜、伊良部	2回目
11月23日(日) 10:00～11:30 総合体育館	平一、南	
11月23日(日) 14:00～15:30 総合体育館	北、東	
11月24日(月) 10:00～11:30 総合体育館	西城、城辺、福嶺、砂川、下地、来間、上野	
11月29日(土) 14:00～15:30 総合体育館	久松、鏡原、宮原、西辺、狩俣、宮島、池間	
11月30日(日) 15:00～16:30 伊良部公民館	佐良浜、伊良部	

※予診票は、学校を通して配布されます

※小学生は2回接種になります

※指定日に都合の悪い場合は、他の日時でも接種できます

日程表（中学生）

日時と場所	対象中学校名
11月9日(土) 10:00～11:30 伊良部公民館	佐良浜、伊良部
11月23日(日) 10:00～11:30 総合体育館	平良
11月23日(日) 14:00～15:30 総合体育館	北
11月24日(月) 10:00～11:30 総合体育館	西城、城辺、福嶺、砂川、下地、来間、上野
11月29日(土) 14:00～15:30 総合体育館	久松、鏡原、西辺、狩俣、池間
11月30日(日) 15:00～16:30 伊良部公民館	佐良浜、伊良部 (9日に未接種の生徒)

※指定日に都合の悪い場合は、他の日時でも接種できます



高齢者インフルエンザ 予防接種について

高齢者のインフルエンザ予防接種は、期間内であれば病院等でいつでも接種できます。
詳しくは、かかりつけの医療機関までお問い合わせ下さい。

【対象者】

- ★65歳以上の者
- ★60歳以上65歳未満で、心臓や腎臓、呼吸器の機能障害またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害を有する者

【期間】

- ★平成20年11月1日(土)
～平成21年2月28日(土)

【費用】

- 約3,000円(うち公費負担2,000円)
- 個人負担額は約1,000円程度です
- ※個人負担額は病院により異なります

インフルエンザ予防接種は任意接種です。
対象者のうち、本人の意思で希望する場合に接種して下さい。

お問合せは

健康増進課 予防係
☎ 77-7595
(内線 84227)

◆◆◆ 摂取について ◆◆◆

1. インフルエンザ予防接種は、任意接種です。
効果や副反応などをよく理解し、希望される場合に受けましょう。
2. 摂取の際には保護者同伴とします。
ただし、保護者同伴が困難な場合は代理（親戚等）同伴でも可能です。
その場合、同伴者は予診表「インフルエンザ予防接種希望書」欄に保護者の自署が必要です。
3. 予診票は、記入前に副反応等の説明をよく読み、お子さんの健康状態を良く把握している保護者が正確に記入して下さい。
摂取希望の有無、当日の体温、アレルギー・体質の有無、現在の体調等は正確な記入をお願いします。
4. 摂取後は観察のため、その場でしばらく（30分程度）様子をみて下さい。
5. 当日、体調不良で接種できない場合は、他の日時に接種できます。
6. 接種費用は、上記に日程が記載されている集団接種の場合は無料（公費負担）ですが、病院等での個別接種の場合は自己負担となります。

外国人の眼から見た宮古島

海外旅行もすっかり身近になった昨今。宮古島でもたくさんの外国人が見られるようになりました。

言語も文化も全く異なる外国で育った人から、私たちの宮古島はどう見えるのでしょうか？

このコラムでは、宮古島市の国際交流員の視点から見た「宮古島」を紹介します。



プロフィール

名前：David Alexander Fehrmann (ダビド・アレクサンダー・フェルマン)
 生年月日：1978年11月15日 29歳 ベルリン出身
 趣味：サッカー・ダイビング・バレーボール・旅行
 仕事：昨年8月から、市の国際交流員としてドイツ村支援・翻訳・通訳・国際交流等で活躍

コメント

私は宮古島の事好きになりました。この宮古島と言う小さい島は様々な魅力点があると思います。自然は何もと比べられない程素晴らしいと思います。もう宮古島は昔からの仲の良い友達のように感じています。友達だからこそ、たまに意見を表現することも必要です。これから広報誌にコラムで私の外国人の目で観た宮古島に関して、または自分の故郷に関して色々書きたいと思います。そして、毎週火曜日に上野行舎でドイツ語講座を行っています。一般市民と楽しみながら、ドイツ語とドイツの文化について勉強します。興味がある方々は是非参加していただきたいです。

「宮古島での多量飲酒について考えましょう」

宮古島に着いてから、まだ三日目が終わっていなかった時に初めて「オトリー」を紹介されました。私はドイツ人として、お酒に強いと言われていたが、宮古島の一般の男の人に負けるだろうと思いました。

ドイツで一番人気があるお酒は間違いなくビールだ。ビールは約5%のアルコール分があります。宮古島では泡盛がよく飲まれています。泡盛は30%のアルコール分があり、水割りで飲まれています。泡盛とオトリーは一緒だと思えばいいでしょう。泡盛を飲む人はオトリーを回します。オトリーを回す人は泡盛を飲みます。水割りでも泡盛はまだ8%以上アルコール分があるでしょう。オトリーのグループの人数が多ければ多くなるほど、二日酔いが大変になります。

私は「オトリー」という文化が嫌いと言うわけではありません。約600年前に神事の一環として始まった「オトリー」は現在のものに歪んでしまったと思います。社会的な地位や職場の上下に関係なく、平等になり、意見交換を行う為の飲み方から、ただお酒を回し飲んで酔っぱらえばいいと言う目的があることになったような気がします。特別な機会だけではなく、三人が集まれば「オトリー」を回しましょうと言うことが多いです。宮古島の男性の方はお酒を飲み過ぎると思います。これは、宮古島で良く知られている問題だと思います。

宮古島市役所福祉保健部健康増進課によって平成20年3月に広報された「宮古島市健康の推進プラン」の調査によると、20歳から74歳までの男性の多量飲酒者の割合は驚くべき75.5%でした。つまり一日の平均でアルコール60gを消費することになります。それは節度がある適度な飲酒は約20gで、宮古島で三倍くらい飲まれていることになります。誰でも知っていることだが、ほとんど無視されている真実はアルコールの多量飲酒が我々の身体に非常に悪い影響を及ぼすことです。よって、身体的、精神的に最も重要な被害を受けます。その真実を無視せず、意識を強めましょう。節度がある飲酒を楽しみましょう。

最近日本全国でニュースに出た113歳の田鍋友時さんのお誕生日でした。どうやって生活すれば長生きするかと聞かれたら「アルコールを飲まない」と答えたそうです。今、自分達の生活習慣を考え直しましょう。

11月は「指名手配被疑者捜査強化月間」です 指名手配被疑者の検挙にご協力を！

警察では、11月を「指名手配被疑者捜査強化月間」に指定して、オウム真理教関係被疑者3人をはじめ、特に重大な犯罪の被疑者を全国警察の総力を挙げて追跡捜査を行い、早期検挙に向けて取り組んでいるところです。

この指名手配被疑者の発見のための各種捜査活動には、市民の皆さんのご協力が必要不可欠です。

指名手配被疑者に心当たりがある場合は、どんなわずかなことでも結構ですので、警察までご連絡下さい。

宮古島警察署 ☎72・0110



防災ひとくちメモ 地球温暖化について

沖縄県内のスーパーなどでは、10月1日からレジ袋の有料化が実施されました。これは、買い物客にマイバッグを持参してもらうことにより、ごみの減量と地球温暖化防止を目的としたものです。

世界の平均気温は、過去百年間(1906-2005年)で0.74度上昇しており、近年は特に上昇率が高いことがわかっています。これについて、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の評価報告書では、人為起源の二酸化炭素の増加が原因である可能性が非常に高いとしています。今後何の対策も取らず、化石燃料に依存した経済成長を続けられれば21世紀末には最大で6.4度上昇するとしています。また、温暖化のもたらす21世紀の気候変化として、海面水位の上昇や熱波の頻度及び強度の増加、強い熱帯低気圧の割合が増加などを予測しています。

左の図は、宮古島の熱帯夜(日最低気温が25度以上)の変化を示したものです。このデータによると、過去70年間で約46日の日数増加となっており、近年は年間の約3分の1近くを占めるようになってきました。

気象庁は、温暖化への取り組みとして、与那国島などで温室効果ガス(二酸化炭素やメタン)の観測を実施しています。また、世界及び日本の気候変動の監視を行うとともに、地球温暖化予測情報を各機関へ提供しています(一般向けにも気象庁ホームページで資料を公開しています)。また、気象庁では温暖化に関する知識の普及・啓発を目的に、各地で講演会を開催しています(宮古島では昨年12月に開催)。講演会で「温暖化防止に向けて何をすればよいのか」と質問を受けたことがあります。ごみを減らす、クーラーの室温設定を高めにするなど身近なことから始めるのと同じように、温暖化について学ぶことも始めてはいかがでしょうか。

労災保険のこと、お気軽にご相談下さい！

労災の年金に関する諸手続きや在宅介護、生活問題、心配事ごとはありませんか？

財団法人労災年金福祉協会では、厚生労働省の委託を受けて労災年金相談所を設け、「過労死」等を含む労災補償に関する各種相談業務を実施しています。

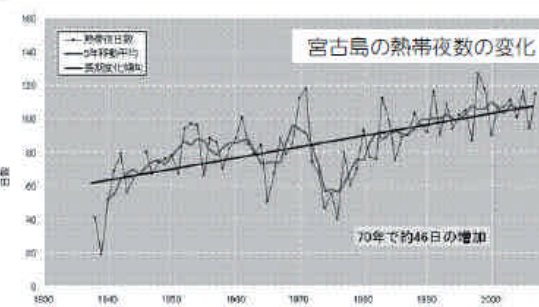
お困りの方は、お気軽にご利用下さい。

相談内容：労災の年金に関する諸手続き、在宅介護、生活問題、健康監視、メンタルケア、仕事の疲れからくる健康・精神的悩み(過労死含む)など

相談方法：来所、電話、文書にて

日時：毎日午前9時～午後5時(土日祝祭日除く)

問合せ先：〒900-0032 那覇市松山1-32-7 沖縄労災ケアサポートセンター(財)労災年金福祉協会 ☎098-869-1328



第18回宮国地区保育活動

10月8日に、宮国地区で美ぎ島宮古グリーンネットの第18回保育活動が行われました。「防災に強い島づくりを推進すると共に、花と緑に包まれた美ぎ島宮古づくり」を合い言葉に、グリーンネットの会員と地域住民のみなさんが一体となって防風林の除草や施肥、新規植え付けなどを行い、すがすがしい汗を流しました。



心を込めて防風林の維持け……！

秋の全国交通安全運動出発式

「飲酒運転 しない させない 地域の輪」をスローガンに秋の全国交通安全運動出発式が関係22団体、約150名の参加のもと市中央公民館で行われました。特に運動の重点として、高齢者の交通事故防止、高齢者マーク表示が義務化されたことの周知とすべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底などがあげられ、出発式の後、市内をパレードして市民に向け交通事故のない安心安全な地域づくりに対する協力を呼びかけました。

第2回下地地区大運動会を開催！

下地地区地域づくり協議会主催の「第2回下地地区大運動会」が、去った10月12日に下地小学校グラウンドで盛会に開催されました。この大運動会は、市町村合併にともない地区の行事が縮小されていく中、地域の活性化を目指して昨年から開催されているものです。今大会の競技は、老人クラブによる50メートル競争や幼稚園児や小学生による演技など、盛りだくさんの内容となり、下地地区の子供からお年寄りまで、大勢の住民が参加してスポーツの秋を楽しみました。



地域の絆を深めながら
あの顔・この顔も元氣……！

中央公民館から平良庁舎までをパレード！



第8回伊良部トーガニまつり

10月11日、伊良部島で「伊良部トーガニまつり」が行われました。今回で8回目になる祭りは、祖先が残した文化遺産である宮古民謡「伊良部トーガニ」の保存と継承を図り、観光の振興に寄与する目的で行われています。今年も、17歳から81歳までの出場者が、三線の音色に乗せて歌い上げる叙情歌は、月夜の空に響いていました。その日、1000人を越える来場者は、それぞれの歌声に魅了され、惜しみない拍手を送っていました。最優秀賞は「トーガニの部」高原千春さん。「島タウガニの部」森田秋さんが受賞しました。



最優秀賞に輝いた
高原千春さん



伊良部保育所・佐良浜保育所年長
も参加するトーガニの曲



最後を飾った佐良浜ミーツ
クイチャー

“見上げてごらん” ちよつと上を……！

「久松港にバルテノン神殿。出現!？」

久松港に隣接する一角で、世界遺産登録の古代ギリシャ・バルテノン神殿が目に見え始めてきました。一瞬目を疑った。(!?……) どう見ても神殿だ？
だが、よく見ると壁面のレリーフが「久松五勇士」そのものなんです。なぜ？
と言う好奇心で、庭造りに汗を流しているご主人に手を止めていただき、お話を伺いました。ご主人は、東京都に本拠地を置く、レリーフやモニュメントを製作する彫刻家でした。宮古島に来るきっかけは、20年前に出場したトライアスロン、4回も参加したアスリートでもありました。
それにしても、ギリシャ神殿を模した建物のレリーフが、なぜ、久松五勇士なんだろう？の疑問に、「長い間、彫刻に携わってきて、ギリシャ彫刻に興味があったのと、ここ久松ならやっぱり五勇士でしょう」と、にっこり笑う。住み心地にも満足の様子。昨年、建てられたというこの建物は、ギリシャ神話と久松五勇士との融合した一つの作品かもしれません。また、「若い時からの構想を形にするためにこの場所がある」と話す。人生の集大成を表現するのに宮古を選択した必然性が作品が語ってくれることなのでしょう。「氣力、体力があるうちに、なんでもやんなきゃだめだよ」爽やかな笑顔の向こうに、創作意欲を垣間みることができました。この地でどんな作品が生み出されるのでしょうか。楽しみです。
ちなみに、五勇士のレリーフをご覧になる場合は、夕方、西日の光が陰る頃がお勧めです。影に深みが出て、くっきり浮かび上がる五勇士が見られます。
一度、ゆっくり見上げてごらん ちよつと上を……！

道はたから……！

一本の道に込められた多くの願い！

真っ白に輝く那覇前浜から来間島に架かる来間大橋！その橋のたもとに島人たちが書き記した多くの願いがあることをご存知でしょうか。
来間大橋は、1,690mの農道として、1995年に開通し、来間島から眺める景色は島内観光の一つとして欠かせないスポットとなりました。しかし、橋が開通するまでは、フェリーと小型船の往復に頼る生活を余儀なくされ、急病人が出たときなどは、島チャビ（離島船）を痛感させられることが多くあったとのこと。当時、橋の必要性は切実な願いだったことでしょう。ただ、実現性は、そこに暮らす人たちの微かな期待。あるいは叶わぬ夢だったかもしれません。
橋を架けるために陳情してから20年もの歳月が流れ、ようやく開通した来間大橋は、どんなにか喜ばれたことでしょうか。その思いをうかがい知ることができるタイルに刻まれた手書きのメッセージが来間側の橋のたもとの上部にはめ込まれています。橋の実現で、老いた父母を思う不安の解消、いつでも行き来できる安心感、ライフラインの充実、農作物の搬出の解消など、一本の農道がもたらした推し量ることのできない物語が起き、島チャビに苦しめられたことは思い出となりました。
橋建設の陳情の立役者となった来間大橋建設促進期成会長(故)大浦徹氏のメッセージ「みんなの願いだ、橋の実現」。あきらめない一途な思いは形となり、一本の道は、天に続くかのように真っすぐ伸びています。
何気なく通り過ぎる道ばたにも、名もない花が咲くように、誰かのあたたかい思いがひっそりと輝いています。

うまがい!かまがい! 宮古島の話題 [The Topics]

バルテノン神殿を思わせる建物



五勇士のレリーフ



タイルに刻まれた深い思い!



みんなの願いを形に……！



天に続くかのような一本の道



干した布団がおひさまの香りを吸い込んで、心地よく眠れる秋の夜。(PN, 秋風亭紅葉40代)